

令和5年5月18日
東京都北区
北区軟式野球連盟
北区少年野球連盟

第73回 北区少年野球大会運営規程（7月9日～23日）

1. 本大会は2023公認野球規則及び競技者必携記載の関連規程、ならびに東京都軟式野球連盟少年部公式野球大会注意事項及び北区少年野球連盟「大会規程と注意事項」を適用する。ただし、大会運営にあたってはこの規程を優先する。また、安全管理のため、危険なプレーは一切禁止する。

（1）参加資格

北区在住、在学者及び北区内在チームで次の該当者（男女を問わない）

- ① Aクラス…中学生
- ② Bクラス…小学5・6年生（4年生を含んでもよいが、その選手はCクラスと重複して登録はできない）
- ③ Cクラス…小学3・4年生（1～2年生を含んでもよい）
- ④ 上記①～③に登録した女子選手は、別途女子単独チームにも登録し出場できる。

（2）表彰

各クラス 1位、2位（各1チーム）、3位（2チーム）

（3）試合の回数と制限時間は〈決勝戦含め〉次のとおりとする

- ① Aクラス 7回 制限時間1時間30分、コールドあり
 - ② Bクラス 6回 制限時間1時間30分、コールドあり
 - ③ Cクラス 5回 制限時間1時間10分、コールドあり
- この制限時間を超えたら新しいイニングへは入らない。

（4）タイブレーク方式は下記による

- ① 上記（3）の回数を消化したとき、又は制限時間を超えた最初の均等回を終了したときに同点の場合は、延長戦を行わず、タイブレーク方式を行う。

〈タイブレーク方式〉継続打順とし、前回の最終打者を一塁走者とし、二塁走者は順次前の打者として、無死一塁・二塁の状態にして、1回行う。

- ② この方式でも、なお勝敗が決しないときは、抽選で勝敗を決める。

〈抽選方法〉

- ① 最終守備者が守備位置順に整列する。
- ② O印および無印カード各9枚、計18枚を抽選箱に入れ、審判員立ち合いの下、先攻投手から交互にカードを引き、O印カードが多いチームを抽選勝ちとする。

（5）コールドゲームは次のとおりとする

- ① Aクラス 4回以降の均等回の得点差 7点以上
- ② Bクラス 4回以降の均等回の得点差 7点以上
- ③ Cクラス 3回以降の均等回の得点差 9点以上

(6) ボークは次のとおりとする

- ① A・Bクラス 適用する
- ② C クラス ボークを宣告し、ボールデッドとするが、ボークでのアウトを認めず元の塁に戻す。セーフはそのままとする。

(7) 変化球について

B・Cクラスは変化球を禁止する（自然の変化か、そうでないかは球審の判定により、これに対する抗議は認めない）。

(8) 塁間及び投手板と本塁間の距離

- ① A クラス 塁間 27.43m 投手板と本塁間 18.44m
- ② B クラス 塁間 23.00m 投手板と本塁間 16.00m
- ③ C クラス 塁間 21.00m 投手板と本塁間 14.00m

(9) 野手が飛球等の捕球後デッドラインを越えた場合は、ボールデッドとなり、各走者には一個の塁を与える。

(10) 選手（野手）が試合中の怪我等により手当が必要と審判員が判断した場合、再出場を前提に一時的に他の者と代って試合から離れることを認める（同一箇所につき1回に限る）。なお、この場合には審判員の指示に従うこと。

(11) 走者（打者走者含む）が負傷などで治療が長引く場合は、相手チームに伝え、試合に出ている9人の中から臨時代走（打順の前位の者、ただし投手を除く）を認める。

ただし、打者が頭部にヒット・バイ・ピッチ（デッドボール）を受けた場合には、球審はただちに臨時代走の処置を行う。

(12) 守備の時間が長い場合には健康維持を考慮し、審判員の判断で給水タイムを設ける（この時間はロスタイム扱いとする）。

(13) 投手の投球制限

- ① 投手の肘・肩の障害防止を考慮し、以下のとおり投球制限を設定する。
 - Aクラス …… 1人1日100球で投手交代とする。（打撃の途中で100球に達した場合は攻守交代となるか、その打者の打撃が完了までとする。）
 - Bクラス …… 1人1日70球で投手交代とする。（打撃の途中で70球に達した場合は攻守交代となるか、その打者の打撃が完了までとする。）
 - Cクラス …… 1人1日60球で投手交代とする。（打撃の途中で60球に達した場合は攻守交代となるか、その打者の打撃が完了までとする。）また、Cクラスは1イニング9点で攻守交代とする。
- ② 一度投手を離れた投手が、投球制限内で他守備に付いている場合は、投手の再登板を認める。
- ③ 投球数カウンターは両チームの保護者が担当し、相手側チームの投手の投球数をカウントする。

(14) 1日2試合（ダブルヘッダー）は行わない。

2. 用具について

- (1) 金属製バット、ハイコンバットは全日本軟式野球連盟で公認されたものを使用すること。
- (2) キャッチャーは全日本軟式野球連盟公認のプロテクター、レガース、ファウルカップ、及び全日本軟式野球連盟公認かつSGマーク付のヘルメット、フェイスマスク（キャッチャーマスク）を着用すること。
- (3) バットリング、鉄棒の使用を禁止する。
- (4) B・Cクラスは金属製スパイクの使用を禁止する。
- (5) Aクラスのスニーカーは禁止する（靴底が樹脂またはイボスパイクは可）。
- (6) 打者、走者、次打者及びベースコーチは規定のヘルメットを着用のこと。
- (7) 大会使用球 Aクラス - M号、 B・Cクラス - J号

3. 開会式

令和5年7月9日午前8時30分から開催する。

4. 注意事項

- (1) 1チームの参加申込みは、12名以上とし、上限は設けない。ただし、試合は9名以上で出場とする。また、同一チームで申し込む場合はA・B・Cの3チームまでとする。
- (2) 不正登録のあった場合は没収試合とする。
登録選手の変更はそのチームの初戦開始までに大会本部へ届けること。
- (3) 組み合わせを決める際の抽選順位はスポーツ推進課スポーツ支援係での申込み受付順とする。
- (4) 各チームの会場への行き帰りには各クラスとも成人の引率責任者が同伴すること。
また、B・Cクラスは引率責任者の他に成人の付添いを2人以上つけること。
- (5) チームの責任者は、試合開始30分前までに試合予定面の審判員へメンバー表を提出すること。遅れてくる選手にはO印をつけること。
- (6) 試合開始定刻に集合しないチームは棄権とみなす。各クラス共、引率者が同伴しないチームも同様とする。
- (7) 無断欠場は相手に失礼となるので、必ずチームの責任者が事前に大会本部へ連絡すること。
- (8) 試合の進行状況により、開始時間が早まる場合及び、グラウンドを変更することがある。
- (9) 試合服装は、選手はユニフォームに背番号をつけ、監督、コーチ及びスコアラーはユニフォームまたはスポーツウェアを着用のこと。なお、背番号は監督30番、コーチ28・29番、主将10番、選手は0～99番とする。

- (10) ベンチは組合せの若い番号を一塁側とする。先攻、後攻は試合開始前に審判員立会いのもとジャンケンで決定する。
- (11) ベンチに入れるのは登録された選手および監督ならびに2名のコーチ、1名のスコアラーとする。熱中症対策として、保護者3名以内をベンチに入れることができる。
- (12) ベンチ内での電子機器（携帯電話・パソコン等）の使用を禁止するが、電子スコア記録用として1台の使用を認める。指示用メガホンは、ベンチ内に限り1個の使用を認める。
- (13) コーチスボックスには必ずヘルメットを着用した選手が入ること。
- (14) 次のバッターは、ウェイティングサークルで、ヘルメットをかぶり、立って待機すること。
- (15) ルールに基づく内容について抗議できるのは、当該プレーヤーと監督のどちらか1名のみとする。
- (16) ファールボールは、Aクラスは攻撃側、B、Cクラスは打球に近いチームの選手が拾いに行くこと。
- (17) 試合中はもちろん、グラウンド内は、好ましくない行為やヤジを禁止する。また、応援席のヤジや行為はチームの責任となるので、注意すること。
◎特に投手が投手板に触れて投球位置についたら、投手の動揺を誘うような大きな声を発しないこと。
◎没収試合の場合もあり得る。
- (18) ベンチ内の大人がいかなる状況であっても、選手を委縮させるような言動を禁止する。
- (19) 試合終了後、両チームの選手はグラウンド整備をすること。
- (20) 試合終了後、両チーム共ゴミは責任をもって持ちかえること。
- (21) グラウンドは全面禁煙とする。
- (22) 参加チームは、スポーツ保険に加入していること。
- (23) 怪我等の場合は、大会本部にて応急処置のみ行う。
- (24) 試合当日が雨天の場合は、各チームより大会本部へ問い合わせること。
※各日とも午前7時に確定するので、それより前には問合せしないこと。また、問合せはチームの代表者のみとし、同一チームはクラスごとに問い合わせせず、1名の代表者のみの問合せとすること。
大会本部 電話 090-3094-2900 （午後4時まで）
- (25) <参考>として「北区軟式野球連盟試合情報」ホームページにトーナメント表・試合日程・試合結果・雨天中止のお知らせを掲載するので、参照すること。